

保湿剤グリセリンの効果持続時間

多くの保湿化粧品に配合される保湿剤グリセリンの保湿効果は数時間持続するとされていますが、一般的には 8 時間から 12 時間を目安に保湿効果を維持するために設計されています。また、特定の用途やブランドによっては、24 時間効果を謳う製品もあります。

グリセリンは速やかに保湿効果を発揮するため、短期間で保湿効果を実感できます。但し、一定時間経過しグリセリンの保湿効果が切れると、肌は元の乾燥状態に戻ります。グリセリンによる保湿効果は一時的であり、持続時間が限られています。この即効性は消費者にとって魅力的です。同時に、化粧品メーカーにとってもグリセリンはコストと利便性に優れた成分であり、非常に魅力的です。

リノール酸含有の合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品『海森水』は、皮膚バリアを修復・強化し水分蒸散を防止し、角質水分保持力の維持・向上に非常に有効で、持続的な保湿効果をもたらします。化粧品に頼らず、長時間にわたって保湿効果が続く「肌本来の機能で潤いを保つ」製品を求める消費者が増えています。しかし、そうした製品の開発には多くの場合高いコストがかかります。これにより、化粧品メーカーにとっては経営面での負担となることがあります。

なぜ、多くの化粧品メーカーは、長時間にわたって保湿効果が続く「肌本来の機能で潤いを保つ」製品を製造しないのでしょうか？化粧品メーカーは、消費者に製品を継続的に使用してもらうことで、安定した売上を確保します。そのため、製品の効果が一時的であることは、ある意味では企業戦略の一環となりえます。

消費者はそのことに気付いているのでしょうか？消費者の意識は多様です。一部の消費者は肌の仕組みや成分、効果について詳しく調べ、理解しています。そして、化粧品に頼らず、長時間にわたって保湿効果が続く「肌本来の機能で潤いを保つ」製品を求める消費者も増えています。一方で、多くの消費者は即効性や使用感に重きを置いています。また、日常生活の中で手軽に使用できる製品を選ぶ傾向もあります。

グリセリンの保湿効果が切れると、肌は元の乾燥状態に戻ります。対処療法的な視点では有用ですが、化粧品に頼らず、長時間にわたって保湿効果が続く「肌本来の機能で潤いを保つ」製品を求める消費者が増えています。こうした消費者のニーズに応えるためには、皮膚科学についての教育や情報提供も、化粧品メーカーやメディアの重要な役割となります。